



か ん ご

# れんめい大分



平成29年9月15日発行

第59号



大分県看護連盟メールアドレス  
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp  
ホームページアドレス <http://www.renmei-oita.com/>

発行所：大分県看護連盟 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館 TEL 097-574-7088  
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123



## 日田祇園祭の山鉾

日田祇園は、約300年の伝統を誇る豪華なお祭りで『日田祇園の曳山行事』は、昨年12月にユネスコ無形文化遺産にも登録されました。7月の九州北部豪雨で被害に見舞われ、“集団顔見世”は中止になりましたが、祭りが悪疫を鎮め、地域の安寧を願う神事であることから巡行は行われました。

九州北部豪雨ではご心配いただきありがとうございます。励ましやお見舞いの言葉に感謝申し上げます

## もくじ

ごあいさつ・新旧役員ごあいさつ	2～4
平成29年度大分県看護連盟通常総会	5
平成29年度日本看護連盟通常総会	6
平成29年度第1回都道府県看護連盟会長・幹事長・支部長合同会議	
青年部合同会議・国会見学・参議院議員会館に行ってきました	7
青年部「第1回出前ポリナビ」・第5回九州ブロックポリナビワークショップin沖繩	8
大分県看護連盟・看護協会合同研修会・たかがい恵美子議員来県	9
第24回参議院議員選挙のアンケート結果・訃報	10
石田まさひろ議員に現場の声を届ける会	11
行事予定	12

平成29年度

## 大分県看護連盟会員数

◆連盟会員 3,455名

\*特別会員4名含む

◆賛助会員 19名

平成29年8月現在



# ごあいさつ

7月の九州北部豪雨で被災された方々には心からお見舞いを申し上げ、一日も早く日常が戻ることをお祈り申し上げます。

また、この災害に対しまして、各県の会長さん方より励ましやお見舞いのことばをいただきました。ありがとうございました。

日頃より、看護連盟に力強いご支援・ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

6月15日に日本看護連盟通常総会が開催され、この総会において、昨年7月の第24回参議院議員選挙の結果を受け、第25回参議院議員選挙の候補予定者を一年前倒して決定しました。

石田まさひろ参議院議員が組織内候補予定者に推挙され、全会一致で決まりました。2年後の石田まさひろ議員の2期目の挑戦に向けて動き始めております。

「石田まさひろを応援する会」(後援会)を立ち上げ、活動の時期を「知る」「伝え広める」「応援する」の3期に分け活動します。

6月25日に開催した大分県看護連盟通常総会では、「ベッドサイドから政治を変える」～看護政策実現に向けて、自ら活動する力強い組織をつくる～がスローガンに決まりました。ベッドサイドは臨床の場だけでなく看護職が活躍しているすべての場です。ベッドサイドから声をあげていただき、その声を実現するために、①力強い組織の推進、②成熟・自立した活動を重点目標として活動していきます。

みなさまには、なお一層のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



大分県看護連盟  
会長 安東 和代



この度の九州北部豪雨で被災されたみなさまにお見舞い申しあげます。また、適切な対応を取っていただきました、安東会長はじめ連盟のみなさまには感謝申し上げます。

台風シーズンを迎え、再三にわたる被害の発生しないことをお祈り申し上げます。大分県には、14年間もお世話になり、「第二のふるさと」と思っておりますので、被害の状況や、事件などを、テレビなどを通して目にするたびに、胸が痛みます。

さて、去る6月15日の日本看護連盟の総会におきまして、第25回参議院選の組織内候補予定者として、石田まさひろ現参議議員を満場一致で決定させていただきました。看護政策の実現に向けて石田議員の活動をしっかり支援していくために、清水嘉与子顧問を会長にお願いし「石田まさひろを応援する会」を設置いたしました。

2025年を目前に控え、「予防し・治し・支える医療」を中心となって担っていくのは、看護職です。看護職が、患者さんたちの信頼を得つつ、明るく、楽しく役割を果たしていくためには、看護界が丸となって、就労環境の改善等の山積する課題を解決していかなければなりません。これらの課題を看護政策として実現していくために、私たち連盟は、国会議員の先生方をしっかり応援し、活動していただきましょう。



日本看護連盟  
会長 草間 朋子



7月の北部九州豪雨災害の被災地の皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日でも早く安心と日常を取り戻されることを願っています。

大分県看護協会では、7月11日～17日まで1班5名(感染管理認定看護師1名は1泊2日)2班3班4名の災害支援ナースが日田市内の避難所で活動いたしました。

いつ起こるかかわからない災害に備えることの重要性を昨年引き続き心に刻み、今後の体制整備に活かしていきたいと思っております。

皆様方のご協力ご支援をよろしくお願い致します。

さて、少子超高齢時代の人材不足に伴い、猛烈な勢いで看護を取り巻く環境は変化しています。会長になって1年、看護を取り巻く環境の課題を解決していくには現場の声を上げていかなければ解決しないということを痛感しています。

看護連盟が、看護協会がやってくれるのではなく、現場にいる私達一人一人が声を上げることが重要です。次世代の後輩達のためにも、何より国民の健康と安寧のため発言して行きましょう。



大分県看護協会  
会長 竹中 愛子



参議院議員  
たかがい 恵美子

初秋の候、大分県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平素より、国民福祉の向上と看護政策の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で、当選来一貫して社会保障制度改革の重要な任にあたらせていただくとともに、一昨年秋より女性局長を2期務めさせていただきました。先の参院選を経て、党所属女性国会議員数は43名となり、地方議会においても女性議員数が493名となりました。女性版ふるさと対話集会の創設と全国展開、政治女子を育てる党政治塾「プレミアム・ウィメンズクラブ」の創設・開講、女性の健康の包括的支援に関する法案成立への取り組み、女性医療職エンパワメント推進議連の創設と、着実に政策提言を進めています。

これからも皆様と呼吸を合わせ、丁寧な仕事を心がけて参りますので、引き続き、よろしく願いいたします。



参議院議員  
石田 昌宏

大分県看護連盟の皆さま、日頃よりお力添えを賜りありがとうございます。先般開催されました日本看護連盟通常総会において、組織内候補予定者としての決定をいただきました。看護政策推進の使命をいただいたものと、身の引き締まる思いであります。皆さまのお力で、参議院議員の重責をいただいてから四年が経過し、看護師免許保持者の届出制の新設、認知症ケア加算の新設、民間看護職紹介会社の適正化など、看護の現場をよりよくするための活動を積み上げてまいりました。

これからも、職場環境の改善、基礎教育と卒後教育の連続的充実、看護の社会的地位の向上など力強く推進し、全ての看護職が「今日もよい看護ができてよかった!」と実感できるよう全力を尽くします。

まずは、全国津々浦々を訪問させていただき、現場の声を国政に届けてまいります。皆様の職場に参りました折は、ぜひお声をお聞かせください。



衆議院議員  
あべ 俊子

大分県看護連盟の皆さま、いつもご支援をありがとうございます。多くの議論を重ねた第193回通常国会が閉会しました。今国会では看護職を取り巻く諸課題、特に育児や介護等による夜勤の担い手不足や膨らみ続ける臨床での記録について積極的に取り組みました。それらの取り組みが実を結ぶには時間を要するかもしれませんが、千里の道は一步からの精神で一つ一つの課題に対し、引き続き丁寧に取り組んでまいります。

一方党内では副幹事長を務めあげ、選挙対策や党勢拡大に奔走いたしました。閉会した今は選挙区の岡山に戻り多くの皆さまとふれあう中で地元の声を聞かせていただき、地方創生のため、中山間地域のさまざまな課題、政策に全力で取り組む日々を送っています。

これからも皆さまからの現場の声をお聞かせいただきながら、国政に看護職の願いを届け、快適に働くことができる環境づくりのため頑張っておりますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員  
木村 弥生

大分県看護連盟の皆さま、こんにちは。6月18日、150日間に及ぶ第193回通常国会が閉会。また、8月3日には第3次安倍第3次改造内閣が発足しました。

初当選から2年半、看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりました。特別養子縁組のあっせんに関する法案では、議員立法作成・成立の過程を勉強させていただき、障がい者総合支援法の改正では、医療的ケア児に対する教育・医療・福祉の連携した支援体制の構築に力を注ぎました。

昨年3月には待機児童問題等対策特命チームの座長に就任。ここまで来られたのも、看護職の皆さまのご指導があってこそです。これからも現場の最前線いただいたご意見やご要望を政策に反映し、光の当たらないところにあたたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。

最後になりましたが、京都三区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。



# 新旧役員ごあいさつ

## 国東・杵築・日出地区支部



前支部長  
小玉 初子

このたび、三年間務めさせて頂きました支部長を退任することになりました。大過なく過ごすことが出来たのは、安東会長をはじめとし役員の方々のご指導と会員の皆様方のご支援のお陰と感謝しています。心よりお礼を申し上げます。任期中に施設訪問でお会いした会員の方はもとより、たかがい恵美子参議院議員や政界の方等多くの方々との出会いは、今後私の宝として残っていくと思います。これからは一会員としてご協力をさせて頂きます。大分県看護連盟の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして退任の挨拶とします。本当にありがとうございました。



支部長  
藤原 康子

みなさん こんにちは  
国東・杵築・日出地区支部長として連盟活動に参加することになりました藤原です。  
「行動あるのみ」をモットーに組織内候補予定者石田まさひろ再選にむけ、支部の皆さん・役員の方々の協力を得ながら活動していきたいと思えます。  
前任者同様ご支援よろしくお願ひ申し上げます。  
前任の小玉支部長さんお疲れ様でした。

## 別府地区支部



前支部長  
河野 栄子

支部長としてⅢ期9年間安東会長をはじめ役員の方々、会員の皆様のご協力・ご支援により務めることができました。ありがとうございました。連盟会員を増やすために看護連盟を理解してもらうため、各施設へ資料を持参するとともに基礎研修を学んでいただきました。別府支部の目標数を達成するまでには至らなかったが、私としては頑張ってきました。看護連盟は「ベッドサイドから政治を変える」をモットーに現場の声を聞き、その声を国会議員に届け、看護の課題を解決するために取り組んでいます。一人でも多くの方が会員になり看護連盟の目標が達成し発展することを願ひし会員の皆様の御健康・御多幸をお祈り申し上げます。



支部長  
芝尾 與志美

この度、別府地区の支部長を務めさせて頂きたくことになりました。  
先日、私と同じく新幹事長となった北條真理江さんと共に、市内の施設に新任の挨拶回りをしました。連盟に入っておられる施設のトップの方々、連盟活動を理解されており、私たちに励ましの言葉と力強い支援を約束してくださり、感銘を受けております。支部の役割として今後は、連盟活動を少しだけでも多くの看護職の方々に理解していただけるよう努力して参ります。

## 大分北部第2地区支部



前支部長  
横井 直美

大分北部第二地区支部支部長を務めさせて頂きいただきました。多くの方に支えられ任務を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。  
任期中の第24回参議院議員選挙では、高階恵美子議員の再選に向けて、施設幹事や部署連絡員と力を合わせ取り組んだことが心に残っています。そして、まだまだ課題があることも実感しました。それは、看護職一人ひとりが連盟活動に関心をもち「ベッドサイドから政治を変える」ために、看護職の代表を国政の場へ送り出すという意識を持つことの大切さです。  
今後は後任にこの思いを託し、一看護職として連盟活動に貢献していきます。



支部長  
石橋 弥生

今年度より大分北部第2地区支部長をさせて頂くことになりました。看護連盟のスローガンである「ベッドサイドから政治を変える！～看護政策実現に向けて、自ら活動する力強い組織をつくる～」の実現に向けて、会員の皆様と共に団結力と推進力を強め、看護職の就労環境の改善・整備、教育の充実等を目指していきたいと思えます。そのためにも、1人でも多くの会員を増やせるように組織活動を進めていきます。どうぞ、よろしくお願ひします。

## 豊後高田・宇佐・中津地区支部



前支部長  
原田 よしみ

平成26年から3年間、豊後高田・宇佐・中津地区支部の支部長を務めさせて頂きいただきました。「若い人が自分たちの代表者を国政に送ることの意義を認識し行動できるためには、看護連盟マニュアルがあると活動しやすい」という支部役員会での意見の基、支部のマニュアルができました。今後、マニュアルを差し替えしながら、各病院・病棟の会員共々、心をつなげて次の選挙の投票行動につなげればと思っています。  
ありがとうございました。



支部長  
高橋 輝子

この度、豊後高田・宇佐・中津地区の支部長を務めさせて頂きたくことになりました。今年度、私も今年定年を迎え、長きにわたり働き続けられたのも、看護の代表者が、国政で現場の声を代弁し、働きやすい政策を実現してきている結果だと思えます。その為にも、より多くの看護職が、看護連盟に加入し、自分達の職場環境の改善や看護力強化を目指す必要があります。一人でも多くの方に看護連盟の活動を理解して頂けるように尽力したいと思っております。よろしくお願ひ致します。

出席者数206名・委任状2,564名



大分県看護連盟 会長 安東和代



平成29年度スローガン

「ベッドサイドから政治を変える！」

～看護政策実現に向けて、自ら活動する力強い組織をつくる～



看護連盟は、「ベッドサイドから政治を変える！」をスローガンとして掲げ、国民の健康と福祉の向上のため、看護政策の実現に向けた実行力のある強い政治力をもった組織作りを目指すことを宣言します。

会員表彰

おめでとうございます！



(代表)豊後大野市民病院 佐保あけみ様  
平成29年度会員表彰受賞者は59名でした



広瀬勝貞大分県知事のごあいさつ



御来賓  
広瀬勝貞知事、衛藤征士郎衆議院議員、岩屋毅衆議院議員、穴見陽一衆議院議員、衛藤晟一参議院議員、磯崎陽輔参議院議員、阿部英仁自民党県連会長、麻生栄作県会議員



開会式では、大分県広瀬勝貞知事をはじめ、大分県選出の国会議員5人全員に出席いただき挨拶をいただいた。

また、会員歴20年以上の平成29年度会員表彰受賞者は59名で、代表として豊後大野市民病院の佐保あけみ様に表彰状と記念品が授与された。



御来賓 中野哲朗日田市議、各関係団体、名誉会員



議長団 安藤るみ様・東原清美様

総会成立宣言後、平成28年度県役員会等報告、活動報告、収支決算報告等が承認され、平成29年度スローガン(案)、活動計画(案)、収支予算(案)等5つの提出議案はすべて可決されました。ご協力ありがとうございました。  
総会の閉会后、特別講演として、大島敏子先生に講演していただきました。



新旧役員あいさつ

特別講演

テーマ:「超高齢社会に求められる看護職の意識と行動」

講師:看護職キャリアサポート フリージア・ナースの会 会長 大島敏子先生 (元日本看護連盟副会長)



冒頭、大島先生から開会式の県知事さんをはじめ、5名の国会議員から挨拶を頂くということに、大分県看護連盟の組織力の強さに驚きましたとの賞賛の言葉をいただき感激した。特別講演では、いくつもの取り組む課題と、変えなければならない看護職の意識が「保健医療2035」の背景から見えてきた。具体的な改革の提言を長期的視野に入れたビジョンとしてつくることである。そして直ちに実行し、検討を進めていくことである。いまだかつて誰も経験したことのない少子超高齢社会を乗り越え、日本がさらに発展し、世界の成熟をリードすることで尊敬を集めるようにする。それには、1、保健医療の価値を高める 2、主体的な選択を社会で支える 3、日本が世界の保健医療を牽引すると、改革を進めるための意識と具体的な内容を行動とし活動して欲しいと熱く語った。



# 平成29年度日本看護連盟通常総会

日時:平成29年6月15日(木)12:30~15:00  
会場:東京プリンスホテル「鳳凰の間」

出席者数1,946名(代議員936名、役員15名、一般会員995名) ※大分県の出席者 代議員16名、会員8名



総会出席者



総会に続き、国政報告会が行われました

平成29年6月15日(木)、東京プリンスホテル「鳳凰の間」において、平成29年度日本看護連盟通常総会が、全国から1946名の会員他総勢2000名を超す参加者のもと盛大に開催された。大分県からは、会長はじめ24名が参加した。

開会式では、日本看護協会福井トシ子新会長が2025年に向け問題解決のため強い政治力を持つ必要がある。協会と連盟がタッグを組み看護政策実現を目指そうと挨拶した。

通常国会終盤の徹夜国会の後で、国政報告をする議員は皆さん目が赤く、しかし元気に看護政策実現への提言を語っていただいた。



石田まさひろ参議院議員が組織内候補予定者に推挙され、全会一致で決定した。

国政報告会で、「よりよい看護ができる」ために、全国を回り現場の声に耳を傾け、①職場環境の改善 ②プロフェッショナルな看護=真に自律した看護 ③信頼される看護に取り組んでいくと力強く宣言した。



参議院議員  
たかがい 恵美子



衆議院議員  
あべ 俊子



衆議院議員  
木村 弥生



参議院議員  
石田 まさひろ

## 日本看護連盟通常総会に参加して

### 永富脳神経外科病院 戸上 淳也

日本看護連盟通常総会では総勢2000名を超す方が参加されていました。TVでよく見る代議員の方々を間近で拝見し、来賓としての挨拶で看護連盟の活動を称賛していただき、看護連盟という組織が議員の方々にとってどれほど重要な組織であるかを今回改めて感じる事ができました。

### 豊後大野市民病院 井田 貴久

平成29年6月15日、東京プリンスホテルで開催された総会では、来賓の先生方が看護職への感謝の弁を口々に述べられており、連盟の組織の力強さを感じた。審議事項では、1.力強い組織の創生と 2.成熟・自立した活動が重点方針として採択された。国政報告会では議員の先生方が夜勤手当の改定を確実に実行したいと訴えておられた。石田先生は『今日もいい看護ができた』といえる職場環境を整備していきたいと徹夜の国会審議後にもかかわらず熱く語っていた姿が印象的であった。

## 平成29年度第1回都道府県看護連盟会長・幹事長・支部長合同会議

日時:平成29年6月15日(木)16:45~17:45  
会場:東京プリンスホテル「鳳凰の間」

平成29年度日本看護連盟通常総会で、第25回参議院選挙に向け1年前倒しで、石田まさひろ参議院議員が組織内候補予定者に推挙され全会一位で決定されました。それを受け「石田まさひろを応援する会」(後援会)を発足させたことと、活動方針等について執行部から説明があった。

### 「石田まさひろを応援する会」の活動スケジュール

**知る**

2017年7月開始

**伝え広める**

2018年4月頃～

**応援する**

2019年6月～!!

## 青年部合同会議

日時:平成29年6月15日(木)10:00~11:30  
会場:東京プリンスホテル「高砂」

参加者は230名(大分県より3名出席)、全国の会員が集う通常総会の直前に、青年部の方々の集まる機会を作り、仲間同士で話し合う場が初めて設けられた。青年部の役割、位置づけ、今後の活動、会員を増やす方策等について討議された。

### 青年部合同会議に参加して

#### 豊後大野市民病院 井田 貴久

総会に先立ち、午前中青年部での集会が開催され、静岡・香川・長野各県の活動報告とグループワークが行われた。各県の活動報告では、青年部の取り組みに関して参考になる意見が多く、グループワークも活発な意見交換がなされた。来年以降も青年部集会を開催したいという意見が多数寄せられていた。

#### 永富脳神経外科病院 戸上 淳也

日本看護連盟通常総会直前にあった青年部の集会では、他県の方々の連盟活動について話し合う機会があり、とても興味深いものでした。青年部の方だけで200名以上の参加があり、他県の方との交流では各々がどのような活動に取り組んでいるのかを話し合うなど大変勉強になりました。特に感心したものが、連盟に議員の方を呼んで講演をして頂いたり、一緒に連盟活動に参加して頂いたりというものでした。静岡の方でしたが、石田議員にダメ元で講演・活動参加依頼をしたところ一日だけスケジュールがあいていたので快く参加して頂けたということでした。都心で活動されている議員方は難しくとも、県内で活動されている議員さんなどを交えて連盟活動ができるようなことがあれば、連盟会員の方々の活動参加や今後の青年部活動の幅が広がったりするのではないかと思える話でした。九州ブロックなどで九州各県の青年部の方と交流し、新たな知見をもらえることもあります。九州外での交流も違った刺激・経験を頂ける機会が多いものだと思います。

## 国会見学・参議院議員会館に行ってきました

平成29年6月16日(金)



国会議事堂前で



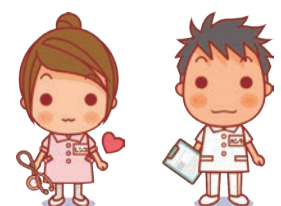
衛藤征士郎先生・磯崎 陽輔先生と一緒に



岩屋毅先生と一緒に



穴見陽一先生と一緒に



昨年とは打って変わってじりじりと暑い晴天の国会見学となった。議事堂内では質問が多く、豆知識のついた見学でした。見学の前に前日の徹夜国会、宵越し国会の疲れの中、衛藤征士郎先生、岩屋毅先生、磯崎陽輔先生にご挨拶をいただきました。また、見学終了後参議院議員会館で穴見陽一先生のご挨拶をいただきました。



## 青年部 『第1回出前ポリナビ』

日時:平成29年2月21日(火)15:00~16:00  
会場:別府大学附属看護専門学校

参加者:学生34名  
委員会メンバー5名 役員他4名



卒業を控えた看護学生34名を対象に国家試験が終了した時期に講義形式で出前ポリナビを実施した。約半数の16名は看護連盟について知らない状態での参加でした。

①看護学生に連盟のことを知ってもらう②看護学生に選挙・医療政策・政治に興味を持ってもらうことを目的に理解しやすく興味を持ってもらえるよう工夫しながら準備を進めた。看護学生からは、資料やDVDが分かりやすかった。看護協会と看護連盟の違いや、どのようなことを行なっているのかなど分かりやすかった等の意見が聞かれた。今後、学生だけでなく様々な施設で出前ポリナビを実施し、看護と政治の関係性を知ってもらうため、多くの若者に選挙や政治に興味を持ってもらえるよう、今後もNurse-ful委員会メンバーで「出前ポリナビ」を実施したい。

## 第5回九州ブロックポリナビワークショップ in 沖縄

九州一心 つながる ひろがる 若手の力 ~これから変わる看護のかたち~

日時:平成29年5月27日(土)13:30~17:00

会場:ロワジュールホテル那覇(3F)「天妃の間」

参加者:227名(大分県より21名参加)

第5回を迎えた九州ブロックポリナビワークショップin沖縄は、質の高いワークショップとなった。若者の現場の声を各県が現状と課題に載せ発表し、2025年を見据えた意義のある発表となった。

大分県は、地域包括ケアの担当で、大分県での取り組みを地域で活躍するコミュニティーの活動を今後の課題も含め発表し、石田まさひろ先生より素晴らしい取り組みと激励を受けた。

備瀬信子先生の「沖縄の看護の歴史」と石田まさひろ先生の「これからかわる看護のかたち」は、若い看護職が看護を考え、活動していく上で今後の指標となる内容であった。



アトラクションのエイサー

### 大分県ワークショップ「地域包括ケアシステムの動向」



若者2人が認知症高齢者夫婦になって…。



暮らしのサポーターの取り組み(竹田市)



これから変わる看護のかたちは……。



頼もしい九州ブロックの若者が一同に



大分県Nurse-ful委員会の紹介

### 九州ブロックポリナビワークショップin沖縄に参加して

#### 大分赤十字病院 荒添 桃子

今回のポリナビに参加して、特別講演では、沖縄の看護の歩みから現在の看護の原点を知り、ワークショップでは各県の発表によって、必要とされているケアや医療の問題について分かりやすく知ることが出来ました。石田先生の講演で、看護のかたちは変わる可能性が高いが、ベッドサイドでの患者との関わりの大切さはいかかわらないというお話を聞き、多忙な中でも患者さんの訴えや、関わりを大切に出来ているか改めて振り返るきっかけになりました。

#### 湯布院病院 合田 健二

各主催者の挨拶後、備瀬信子先生の講話は海外研修を取り入れ特定・認定看護師の先駆けとなる看護教育の徹底に若手看護師にこれからの看護を託す思いに感銘を受けました。各県のプレゼン発表後、参議院議員石田まさひろ先生からは、2060年を目安に医療・福祉のニーズが減少に転じ、若手看護職が将来、医療・看護・介護政策とどう向き合うか考えていくか、とても印象深く残りました。



## 特別講演

テーマ:「看護の経済効果」～2018年診療報酬&介護報酬同時改定に向けて～

講師:看護職キャリアサポート フリージア・ナースの会 会長 大島敏子先生(元日本看護連盟副会長)

参加者:235名



協会と連盟の合同研修であり、来年に迫った診療報酬と介護報酬の同時改定に合わせ計画した研修だったため、病院施設だけでなく介護保険施設、訪問看護ステーションなど参加者は多くの分野で活躍している看護職・ケアマネ等の参加がみられた。竹中看護協会会長の協会と連盟は一緒に活動していくことが必要であると力強い挨拶に感動した。



## 大分県看護連盟・看護協会合同研修会に参加して

### 大分大学医学部附属病院 藤松みずほ

梅雨晴れの日、合同研修会に参加した。「2018年診療報酬と介護報酬の同時改訂」に向けた最新情報という喫緊の課題を、ユーモアを交えた大島先生の話は会場を大いに湧かせた。介護と違い「予測がきく。患者一人一人を科学的に立証することができる。」と看護の素晴らしさを説かれ、私達に沢山のエールを送って下さった。医療情勢に対しアンテナを高くして、地域包括ケアシステム構築を推進し、来る同時改訂に対応していきたい。

### 大分大学医学部附属病院 嶋川由紀

大島先生の講演を聴くと、いつも「頑張って仕事をしよう」という元気をいただく。今回の研修会でも、今後山積みの「課題」はさておき、まず看護に対する情熱、後輩に対する愛情を感じた。これから迎える時代を乗り越えるには、とにかく、看護職みんなで力を合わせて頑張るしかない。「大分は素晴らしいところ」という大島先生の言葉をかみしめ、こんな力強い研修を受けられることに感謝し、自施設の、そして自分の役割を再考した。

### 訪問看護ステーションおおいた 原 洋子

2018年診療報酬&介護報酬同時改定に向けてのタイトルであり、具体的な内容と思い興味を持ち参加しました。2025年問題が話題になっている今、医療と介護の一体改革に関わるスケジュールをお聞きして、国の動向を知る機会を得ました。よりよい改革のためには、看護職の職能団体が強い政治力を持っていないと、看護職のワークライフバランス等がうまく機能しないということがわかりました。私は、在宅看護に携わっています。住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制づくり、地域包括ケアシステムの構築が進められています。「医療と介護の連携」「生活支援とまちづくり」多職種協働のネットワークが必要と思います。テレビや新聞等で情報を察知し、常にアンテナを張り、利用者さんの最大の利益とともに働く私たちの看護職のやりがいのある仕事に繋がりたいと思いました。

## たかがい恵美子議員来県

## ～日田豪雨災害視察～

## 平成29年7月27日(木)

現場の迷惑になってはと発災から20日が過ぎた7月27日、たかがい議員が現状視察のため日田市に入った。

施設代表者からは、5年前の水害の教訓から医療施設と在宅に係わる支援者が連携をとり迅速に患者の対応にあたった。また、西部保健所の所長からは医療チームの編成と活動について詳しく説明があった。

なお続く被災者の対応に保健師を中心に頑張っていることを聴き、たかがい議員から、災害復帰のための対応策や、支援者の支援にも努めて欲しいという励ましの言葉があり、大変ありがたいと喜んでた。

災害復旧で地元支援に奔走されている中野哲朗日田市議会議員に全行程を同行して頂き、被災の情報を受けた。

視察の最後に大分県看護協会が一番最初の災害支援チームに感染管理認定看護師を派遣し、5ヵ所の避難所の感染予防対策を検討し実践したことを大分県看護協会副会長から報告を受けた。



済生会日田病院の対応を聴く



県保健所の活躍を西部保健所で



大分県看護研修会館にて災害支援ナースの活躍の報告を受ける



豪雨災害により鉄橋が流された花月川を視察する高階議員



日田市役所で詳細な対応について

# 第24回参議院議員選挙のアンケート結果(第2回結果)

第1回アンケート結果(「れんめい大分」第58号に掲載)に平成29年度大分県看護連盟通常総会時に実施した結果を加え第2回アンケート結果とした。  
(対象が第1回目がリーダーセミナー・会員研修会時にアンケートを実施し、第2回目は総会時にアンケートをしたため、結果に偏りがあると考え)

## 【結果】

- ◇第1回と同様、10代～30代60人中6人(10%)が、看護職の代表が立候補していたの知らないと答え、看護職の代表(たかがい恵美子)の名前を8人(13%)が知らないと答えている。
- ◇名前を何で知ったか…  
アンフィニ(196人)、連盟の研修会・集会(186人)、ポスター(171人)、れんめい大分(165人)機関紙や集会での啓蒙が有効である。  
連盟の役員という回答も119人と多く、役員の頑張りが見える。
- ◇10代～30代60人中15人(25%)は選挙に行っていない。
- ◇291人中273人(94%)は選挙に行き、18人(6%)は選挙に行っていない。
- ◇選挙に行った273人(期日前125人・当日148人)  
254人(93%)は候補者名を記入  
19人(7%)は政党名を記入
- ◇候補者名を書いた254人  
248人(98%)は、たかがい議員の名前を記入  
6人(2%)は、他の候補者名を記入
- ◇291人中、248人(85%)が、たかがい議員に投票したことになる。

## 【今後の課題】

- ◇10代～30代に看護職の代表が立候補していることを伝え、候補者の名前を知ってもらうことが必要である。
- ◇選挙に必ず行くように働きかけることが重要である。

国民の選挙に対する関心が薄らぎ、特に若い世代に無関心者が多いと言われていきます。看護界においても同様と思われます。看護の力が結集すれば私達が望む安心で安全な医療の提供に近づくことが可能です。一票を投じることは責務です。  
**“選挙に行きましょう”**



## I 年代別人数

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
前回(平成28年10月23日)	1	15	20	40	55	24	155	
今回(平成29年6月25日)	0	10	14	25	58	29	136	
合計	1	25	34	65	113	53	291	

## II 看護職の代表が立候補していたの知っていたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	結果割合
知っていた	1	21	32	65	113	53	285	98%
知らなかった	0	4	2	0	0	0	6	2%

## III 看護職の代表(たかがい恵美子)の名前を知っていたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	結果割合
知っていた	1	21	30	65	113	53	283	97%
知らなかった	0	4	4	0	0	0	8	3%

※名前を何で知ったか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
選挙用グッズ	0	3	4	23	41	29	100	
ポスター	1	12	16	32	74	36	171	
選挙ハガキ	0	3	6	17	31	28	85	
電話作戦	0	0	3	3	9	15	30	
選挙カー	0	0	3	2	16	20	41	
インターネット	0	1	5	1	13	11	31	
連盟の研修会・集会	0	8	17	38	89	33	185	
連盟の役員	0	6	9	20	55	29	119	
アンフィニ	0	15	19	41	79	42	196	
れんめい大分	0	6	15	35	68	41	165	
その他	1	4	1	2	5	1	14	

## IV 7月10日の参議院選挙は投票しましたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	結果割合
期日前投票	0	11	15	22	52	25	125	43%
当日投票した	1	8	10	42	59	28	148	51%
投票しなかった	0	6	9	1	2	0	18	6%

## V 比例代表の投票は、次のどれを書いたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	結果割合
候補者名	1	15	23	59	106	50	254	93%
政党名	0	4	2	5	5	3	19	7%

## VI Vの「候補者名」は、たかがい恵美子に投票したか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	結果割合
投票した	1	14	23	57	103	50	248	98%
投票しなかった	0	1	0	2	3	0	6	2%



## 前大分県看護連盟会長 永瀬 フミエ 様のご冥福をお祈り申し上げます

日本看護連盟名誉会員、大分県看護連盟名誉会員・顧問 永瀬フミエ様が  
平成29年3月5日87歳でご逝去されました。  
生前のご功績に敬意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### 永瀬顧問を悼む

看護連盟の仕事に関わるようになってから最早やどれ程の年月が流れたのか記憶でも定かではありませんが、これまでの活動の全てが今は亡き永瀬顧問との思い出に繋がっています。特に参議院選挙では毎回全身全霊で立ち向かって戦ったものです。その都度、共に一喜一憂しました。時折、顧問が「少々体調が悪くても連盟に出てくると元気になるのよ」と語った笑顔が忘れられません。“やさしさと厳しさ”を兼ね備えておられた先輩は、凛とした素敵な女性でした。永年の御尽力と御指導に対して連盟会員一同に代わりお礼を申し上げます。どうぞ、安らかにお眠りくださいようお祈り申し上げます。  
合掌 平成29年盛夏

### 副会長 高橋多佳子

### 追悼の言葉 竹田・豊後大野地区支部長 加峰マチ子

故永瀬顧問が現実に私達のそばにいない事がとても信じられないです。顧みますと出身地が同郷であり、両方が看護職である事も何かの縁であり、又最後は看護連盟という組織の活動まで共にし、御指導頂き感謝の気持ちで一杯です。20年以上にわたり看護連盟活動ができましたのも、永瀬顧問の暖かいご指導と深い思いやりと気配りがあったからであります。これからは見守って頂きたいと思っていた矢先のお別れは断腸の思いです。大分県看護連盟は会員みな様のご協力で積極的に活動しています。どうぞ天国から私達の活動を見守ってください。永遠に尊敬の念を持ち看護連盟活動を真剣に継続していく覚悟であります。生前に頂いたお気持ちに感謝申し上げます。お別れの言葉と致します。合掌





## 石田まさひろ議員に現場の声を届ける会 平成29年8月26日(土)

平成29年度日本看護連盟通常総会において、第25回参議院議員選挙の組織内候補予定者に決定した。一人でも多くの会員と直接会う機会をつくり、現場の声を届けるために、今回第1回目の来県でありこれから最低2回来県する予定になっている。“現場の声を届けよう”の用紙が74枚に上り現場の声を届けることができた。ご協力ありがとうございました。



**国東市民病院(国東・杵築・日出地区) 参加者：50名**

都市部に比べ地方の自治体病院は看護師確保が難しく、診療報酬では認定看護師が関わると加算が付くが、資格取得には県外への長期出張の課題が出てくる。看護師養成機関が他県に比べ少ないため学生の流出が止められない。と難しい課題が出された。



**日田リハビリテーション病院(玖珠・日田地区) 参加者：10名**

記録、書類が増え時間が割かれる。保険請求の査定が都道府県で違うため治療に差が出る。大病院と違って給与の基準がない。等、小規模病院ならではの声が聴かれた。



中野哲朗日田市議会議員(元医療機関勤務)と  
病院勤務の経験を活かし看護職のために支援を頂いている。



石田まさひろ参議院議員に現場の声を届けよう!

“現場の声を届けよう”の用紙



**パトリア日田 参加者：80名**

研修会前の貴重な時間を頂き、現場の声を聞いた。課題解決のため政策の実現に力を入れることを約束した。



**大分県厚生連鶴見病院 参加者：22名**

別府地区の施設から集まっていた。医療施設、訪問看護ステーション、在宅施設から診療報酬に対して適切な評価を望む声が多く聴かれた。



**大分大学医学部附属病院 参加者：25名**

管理者だけでなく、若い看護師の方の皆さんで迎えていただいた。“現場の声を届けよう”の用紙が25枚にも及び、多くの現場の声を聴くことができた。看護必要度の見直し、幼児保育・学童保育の充実、看護師の人員配置の見直し、給与の問題等、現場の課題に対して解決のために取り組んでいきいと石田議員の決意も語られた。



**大分県看護研修会館 参加者：29名**

大分県看護連盟の役員をはじめ、大分県看護協会の役員の方々も一緒に意見交換をした。



“現場の声を届けてください。石田議員に届けます” よろしくお願いたします。



## 行事予定

研修会	日時	会場	内容
大分県看護連盟リーダーセミナー	平成29年10月15日(日) 9:30-16:00	大分県看護研修会館 2F「第1研修室」	看護連盟の支部幹事・施設連絡員・病棟連絡員を対象にしたセミナー 『特別講演』 テーマ：「国政報告会」～政治に近づくために～ 講師：農林水産副大臣 参議院議員 磯崎 陽輔 先生
第7回ポリナビワークショップinおおいた(新人研修)	平成29年10月29日(日) 13:00-16:15	大分県看護研修会館 3F「大研修室」	第1部：ネットワーク作り 第2部：出前ポリナビ(新人研修) 第3部：『特別講演』 テーマ：『若者と政治をつなぐ ～18歳選挙権時代に求められている若者の力～』 講師：NPO法人Youth Create 小川 智康 氏

### 『第7回ポリナビワークショップinおおいた』 講師紹介

- 小川 智康 (おがわ ともやす) 氏** 1987 (昭和62) 年生まれ、群馬県館林市出身。
- ・大学2年時の議員インターンシップ参加をきっかけに、学生団体ivote (アイ・ヴォート) を友人達と結成し、若者の投票率向上の活動に携わる。
  - ・大学卒業後は会社員として勤務するかたわら、2012年にNPO法人Youth Createの設立に参画し、ボランティアとして活動が続ける。2016年4月に前職を退職し、同年5月からYouth Createの常勤スタッフとして事務局を担当。NPO法人Curiosity (キュリオシティ) の代表としても活動し、高校生向けに起業体験を通じた社会経験の場を作っている。
  - ・2ヶ月と1歳半になる2人の男の子の父として、日々子育てにも奮闘中。



## 確かなものを、贈りたい。 Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品の  
ハム・ソーセージの  
詰合せをどうぞ。



丸大食品株式会社  
西日本特販営業課 九州

福岡県糟屋郡粕屋町大字内橋673-8

TEL 092-621-2121 FAX 092-621-2122

## 平成29年度連盟会員を 募集しています!!

平成29年度  
会員目標 **3,600名**

連盟会費 年間**7,500円**

日本看護連盟  
会費5,000円

大分県看護連盟  
会費2,500円

= 年会費  
7,500円



ベッドサイドから政治を変える!

特典

- ◆連盟主催の研修会に無料で参加できます。
- ◆機関紙「アソフィニ」の配布(年3回)や情報の配信
- ◆「れんめい大分」の配布

◆賛助会員 1,000円

◆学生会員 無料

★詳しくはホームページを  
ご覧ください。

【お問い合わせ先】大分県看護連盟

〒870-0855 大分市豊饒310番地の04 大分県看護研修会館

TEL (097) 574-7088 FAX (097) 574-7517

e-mail : oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

## 編集後記

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、今度は忘れる間もなく次々に大災害が発生しました。

九州北部豪雨に始まり、台風5号の襲来による全国的な水害とまさに日本全土が水浸し状態でした。

被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈りいたします。



## ご存知ですか? 東洋羽毛の無料コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホット一息つきませんか?

〔片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団をおかせて頂いております。ご購入にも応じます。〕

## どんな所でも無料で出張サービスさせて頂きます

東洋羽毛九州販売株式会社 熊本営業所

熊本市東区尾ノ上1-7-3

TEL 0120-382808

お気軽に御利用ください。

